

2022年12月13日

二宮町議会様

神奈川私学助成をすすめる会
水谷徹

二宮町議会議会陳情についての詳細

●「国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」について

神奈川私学助成をすすめる会の水谷徹と申します。今日は口頭陳情の機会をいただき、ありがとうございます。私は「国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」について発言いたします。この間、国の責任で、現在、年収590万円未満の世帯まで私立学校に通う家庭の授業料が無償になっています。さらに、神奈川県は年収700万円未満世帯まで授業料無償です。しかし、世界的にみた場合、日本の教育費の貧困さは先進国の中でも際立っています。大きくは教育費の増額が求められますが、その中で特に私学助成の増額にかかわって陳情をいたします。

「陳情理由」のところに詳しく書いてありますが、さらに3つのことを強調し、口頭陳情といたします。

① 国の教育にかけるお金の低さ

まず一つ目として、日本の教育費がOECD（経済協力開発機構比較可能な38か国）諸国に比べて非常に低い（38位）ということです。教育機関に対する公財政支出の対GDP（国内総生産）比は加盟国平均4.1%、日本は2.8%で最下位です。教育予算の加盟国並み確保は国政各党の共通政策であり、中教審も掲げる目標です。それを実現すれば文教予算は約7.1兆円増額となります。これが実現すれば無償教育の完全実現ができます。

また、新型コロナで問題になっている学校の「三密」解消のための少人数学級についても、大きく前進させることができます。

② 教育費無償は国際的な流れ

二つ目に、教育費無償は国際的な流れということです。日本は国際人権A規約13条の留保撤回をしています。これは、世界に中等・高等教育の学費の漸進的無償化を約束しているという事です。日本は2012年9月11日にこの項目の留保撤回を閣議決定し、国連事務総長に通告しました。外務省は「この通告により、日本国は平成24年9月11日からこれらの規定の適用に当たり、これらの規定にいう『特に、無償教育の漸進的導入により』に拘束されることとなります。」との通知を発表しました。締約国160か国中、159番目でした。

また、国としても推進しているSDGs（持続可能な開発目標）の4つ目のゴールには「質の高い教育をみんなに」とあり、その中身（ターゲット）には教育の無償化が明記されています。まさに教育費無償は世界の流れであります。

③ 子ども、父母の実態

三つ目に私学で学ぶ生徒、父母の声をきいていただきたいということです。お手元に私たちが春におこなった、文部科学大臣、県知事あての一言はがきに寄せられた声を集めた「一言はがき集」があると思います。県内在住の生徒・父母・教職員の声ものっております。国の制度は少しずつ前進していますが、まだまだ厳しい実態があります。

陳情書の本文にもありますように、私学に通う家庭に、国の就学支援金は2020年度から年収590万未満世帯には39万6千円が補助されるようになりました。しかし、文科省の調査によると私学の授業料の全国平均額は44万1千円になります。さらに私立高校には授業料以外にも施設費などがかかります。それらを入れた平均額は58万9千円であります。まだまだ大きな保護

者負担がのこっています。また、居住する場所によって学費負担に差が出る「学費の自治体間格差」も問題になっています。この格差をなくしていくためにも国の就学支援金制度の拡充が求められています。

議員の皆さんや職員の皆さんはすでにご承知だと思いますが、私学はお金がかかって当然という考え方は、変わってきています。教育は権利であり、受けたい教育を選ぶことは当然の権利です。それを公立私立によって学費の格差があり、学べない生徒がいることはおかしいことだと思います。さまざまな課題はあるとおもいますが、教育は国づくり、社会づくりの根幹であります。ぜひ請願の採択をお願いいたします。

●「神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」について

神奈川私学助成をすすめる会の水谷徹と申します。今日は口頭陳情の機会をいただき、ありがとうございます。

「神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」について発言いたします。「陳情理由」のところに詳しく書いてありますが、さらに2つのことを強調し、口頭陳情いたします。

①異常な経常費の低さ

第一に、経常費（学校に出される助成金）の低さの問題です。配布しました資料にもありますように、神奈川県は高校、中学、小学校、で生徒1人あたりの額が、全国的に最低水準の額になっています。これが、学費の高さに跳ね返ってきています。この原因は国が措置した経常費助成を減額して予算化している問題があるからです。高校生一人当たり額で言うと、国基準は349,910円に対して、神奈川県は340,959円（全国で43番目）で、差額は8951円（昨年度6986円）です。これを国基準並みにすると、生徒・父母の学費軽減にもつながりますし、教職員の増員により教育条件の改善にもつながります。

これらの格差が現場の教育条件にも格差を生んでいます。県内の公立高校の教師一人あたりの生徒数は約14名ですが、私学は約18名です。また私学では、非正規教員（任期付き教員）の増加が問題になっています。1年契約、3年契約の教員が増えています。継続的に子どもたちの教育にかかわるという意味で大きな問題になっています。

②さらなる直接助成の増額を

二つ目に私学に通う各家庭に出されている助成金をさらに増額をしていただきたいということです。2020年度から、神奈川県は国の就学支援金制度に上乘せをして、年収約700万円未満の世帯まで授業料の実質無償化を実現しました。さらに今年度から年収800万円未満世帯で多子世帯（15歳から22歳まで3人子どもがいる世帯）まで授業料無償になりました。これは大きな前進であり、私学に通う生徒・父母も大きな助けになっています。

しかし、陳情書の本文にもありますように、公立高校は年収約910万円未満まで授業料無償となっています。また、近隣の県でも、東京都は年収約910万円未満世帯まで授業料が無償、埼玉県は年収約500万円未満世帯まで施設拡充費や入学金を含めて学費全額が無償、となっています。その点から見ても制度の自治体間の格差がありますし、まだまだ制度改善が可能です。

教育は未来の国づくり、社会づくりです。神奈川で学ぶ子どもたちのために、陳情の採択をぜひお願いします。

2022 年度版

神奈川県 一言ハガキ集

神奈川県私学助成をすすめる会

はがき集約数(コメントないもの含む)

県知事宛 2,006 通 文部科学大臣宛 1,097 通

- 川崎市 教職員 お疲れ様です。
- 川崎市 教職員 より良い判断をお願いします。
- 川崎市 保護者 年収の所得制限を東京と同じにしてほしいです。700万を超えると補助金がかかるので、中高生のいる共稼ぎ家庭はきびしいと思います。
- 川崎市 保護者 子ども3人と授業料の負担が多いので、公立高校と同等の基準にして頂きたいです。授業料の他、私立は施設費等高いので、せめて授業料の無償化を望みます。
- 川崎市 保護者 毎年一言はがきを書いています、とうとう息子も高校3年生になってしまいました。やはり、要望が受理されるまでには時間が掛かるものですね。昨今は公立よりも私立を希望する家庭が増えています。神奈川県としても、せめて国基準までは私立学校経常費助成を整えて欲しいです。
- 川崎市 生徒 県独自の施設設備助成を創設してください。
- 川崎市 生徒 お金の負担を親へできるだけ少なくするため公立を受験したけれど落ちてしまい私立に行くことになってしまいました。親は心配するなと話すけれど心配で仕方がないです。なので学費補助を拡充してほしいです。
- 川崎市 教職員 誰もが良い教育を受けられるように私学助成の拡充を望みます。
- 川崎市 保護者 『学び』は子ども達に与えられた権利です。コロナの影響が続き、収束がいつになるか不透明だからこそ、私立中学に通う子ども達への助成は、より求められています。補助の拡充を心よりお願いしたいです。
- 川崎市 保護者 公立に行けずやむをえず私立へ通っている家庭も多いので、ぜひ宜しくお願いします。
- 川崎市 保護者 『学習環境日本一の県』を実現した知事として、歴史に名を残してください。
- 川崎市 保護者 学力格差は、国力低下を招く事が明白。社会に出るまでは平等はチャンス！
- 川崎市 生徒 学費を気にしないで学校に通いたいと思っている。
- 川崎市 保護者 親の経済的理由で学びたい学校に行けないと言うことがないように私学助成の拡充をお願いします。
- 横浜市 教職員 頑張ろう！
- 横浜市 教職員 私学助成拡充をお願いします。
- 横浜市 教職員 全ての私学の助成を充実させて下さい。更に、子どもはまさに日本の未来であり、優秀な子ども達にはそれ以上の援助をお願いします。
- 横浜市 教職員 小・中・高の私学助成をもっと充実させてください。
- 横浜市 教職員 県独自の学費補助のさらなる拡充をお願い致します。
- 横浜市 保護者 私立高校も公立と同等に年収910万円の世帯まで授業料無償化の実現をお願い致します！
- 横浜市 保護者 私学に通う全ての子どもたちを支える助成を実現させて下さい。

- 横浜市 保護者 東京都と同様の補助を願います。大学進学等、お金がかかる為、補助があると助かります。
- 横浜市 保護者 コロナによる負の影響をやわらげる為にも、宜しくお願い致します。
- 横浜市 保護者 子供達が自分自身の合った学校を選び、そこで学びたいと思う気持ちを大切にあげたい。これからの社会の中心となる子供達に経済面で学ぶことを制限してしまうことは絶対にさけたいと願っています。
- 横浜市 保護者 全ての子ども達が平等に自由に学校を選び学べる様、助成の拡充を強く望みます。
- 横浜市 保護者 神奈川が全国最低レベル、これを見て何も感じませんか？ 神奈川に住む子供達の未来の可能性を広げたいと思いませんか？ 公立・私立経済的な心配のない選択肢を約束して下さい！！
- 横浜市 保護者 子供が学費の事を考えずに学校を選べるように助成を増額して下さい。
- 横浜市 教職員 生徒が安心して通えるようによろしくお願いします。
- 横浜市 保護者 子どもが学費のことを気にかけることが無い、また、子どもを安心して学ばせられる、ひいてはお金のことで子どもを産むことをためらう事がなくすお補助の拡充をお願い致します。神奈川県が全国のモデルとなるべく、検討・決断をお願い致します。
- 横浜市 保護者 学びたいと思う子どもの気持ちを止めないよう、各家庭の不安を少しでも軽減できるよう、神奈川県民で良かったと思えるような制度・助成の充実を望みます。
- 横浜市 保護者 子どもが安心して学校に通えるよう、経済的な面を助けて下さい！ 宜しくお願い致します。
- 横浜市 保護者 毎年、私達の声に耳を傾け、補助の見直しをしてくださり、有り難うございます。コロナ禍で予算の編成は難しいと思いますが、更なる私学助成の拡充をよろしくお願い致します。他、都道府県との財源規模が違えど、神奈川独自の学びの平等をご検討ください。
- 横浜市 保護者 様々な経済事情をかかえている家庭がおります。子供が金銭面を考えず、将来国を支えゆく子供達の希望校を広げ、選び学びやすい日本になるよう県統一の助成を実現できますようお願い致します。
- 横浜市 保護者 学ぶことは平等だと思います。子供達が自由に学校を選び、希望する学校へ進学できるように私学助成の拡充を望みます。
- 横浜市 保護者 奨学金などで将来苦労や、好きなことを学べるように助成金の拡大をお願いします。
- 横浜市 保護者 学べる神奈川、子ども・親・学校が安心して生活できる神奈川、神奈川で子育てしたいと思えるように・・・。未来の子ども達のために・・・。
- 横浜市 保護者 年収など関係なく制度を改善してほしいです。子育てに必要な年収があればいいと思うが、実際には年収は関係ないです。それ以上、子育て、生活に出費が多いです。
- 横浜市 保護者 子育て支援は保育園だけではありません。中学高校まで視野に入れていただきたい。
- 横浜市 保護者 私立高校の授業、教材費以外の学費を授業料に補填してほしい。
- 横浜市 保護者 経済による教育格差がこれ以上広がらないようお願いいたします。
- 横浜市 保護者 希望かなわず私立高校に通う子どももたくさんいます！！ 教育にかかるお金が軽減されれば、より多くの子どもに高い水準の教育を受けさせる門戸が開かれると思います！ 神奈川県も他県に見習う所アリマス！

- 横浜市 保護者 子供3人に平等に学ぶ機会を与えてあげたいです。多子家庭には所得制限をなくすか、軽減措置をお願いします。
- 横浜市 保護者 神奈川県も国基準以上レベルの助成を希望します。
- 横浜市 教職員 コロナ禍において、家庭の経済力がより強く学力に反映されるようになり、公立第一志望が多数を占める神奈川では私立に通う生徒は経済的に苦しい家庭が増加すると考えます。助成の拡充を望みます。
- 横浜市 保護者 今年度から妹も私立学校に進学し、2人分の授業料が重くのしかかります。保育園のように2人目補助や、年収制限の緩和等を検討いただけないでしょうか？ 大阪は年収に関係なく無料を聞いています。大阪にできて神奈川にできないとは思えません。
- 横浜市 保護者 私学へ進学して充実している日々をみると、学ばせて良かったと感じます。でも経済面で苦しいのは確かなのです。子ども達が自由に学校を選び、希望する学校へ進学出来る様、私学助成の拡充をお願いいたします。
- 横浜市 保護者 子供達の学びは将来にとっても大切です。子供達が安心して学業に打ち込めるように補助制度を創設して下さい。
- 横浜市 保護者 高校・中学共に私立を選びやすくするため補助制度見直しをお願いします。公立の学校の話を知っていると、ADHDの子や発達障害の特にグレーゾーンに対して、やや通うのは難しい気がします。個人の個性を生かす成長は、広く受け止めてくれる私立の方が窓口が開かれていると思うので、私立に行かせたいと思えるためにも補助の金額を上げ、更に中学校も高校同様に補助が受けられるようにしてほしいです。
- 横浜市 保護者 最終課程に進学する上で重要な高等教育で金銭理由で格差が生まれたい様、助成金の拡大をお願いします。
- 横浜市 保護者 高校は義務教育ではないが、今の時代、ほぼ高校進学は当たり前なので、義務化の代わりに学費補助をお願いします。
- 横浜市 保護者 公立高校と同じようにして欲しい。物価も高くなり、リモートでは生活も厳しい。
- 横浜市 保護者 私立学校も家計負担が大きいです。経済補助をお願いします。
- 横浜市 保護者 保育園の無償化には年収の制限などないのに、なぜ1番お金のかかる高校では補助してもらえないのか？ 子供が2人、3人いて家庭の事情もあり、それなりに働いて収入を得てるのに差別されるのはおかしいです！！ 保育園でも多額の保育料を収めてきた世代にせめてもの補償をお願いします！！
- 横浜市 保護者 子育てしやすい神奈川県、子供達の教育に厚いサポートをいただける神奈川県、心より希望いたします。
- 横浜市 保護者 神奈川県私立高校学費援助水準を引き上げる事は未来への投資です。設備や医療福祉と同様、子供への投資が社会の秩序と安定と発展に必要不可欠である事をご理解いただき、上記各種補助の拡充をぜひ宜しくお願いします。
- 横浜市 保護者 全ての世帯に補助金が出るようにしてもらいたいです。
- 横浜市 保護者 私立高校、公立高校とも全世帯授業料無償化を強く望みます。授業料無償化なくしてカジノナシ！！
- 横浜市 保護者 子供を育てるには様々なお金がかかります。せめて学費だけでも補助の拡充をお願いいたします。また、世帯ではなく、子供一人にたいしての補助額にしないと不公平です。

横浜市 保護者 年収の対象金額が低すぎる。東京都と同じ910万円かそれ以上を対象になるようにしてほしい。子どもが3人以上の軽減を考えてほしい。

横浜市 保護者 国基準の実現を。そして東京都と同じ910万円の世帯まで授業料無償化を。

横浜市 保護者 子供が3人いて大学に通わせたいと所得制限を考えられず働いています。多子世帯の制限はやめていただきたい。

横浜市 保護者 私立高校の授業料補助は大変良くなってきたと思います。今後更に施設費等の補助をお願いしたいと思います。私学の経費で施設費の負担は大きく、授業料・施設費込みでの補助の検討をぜひお願い致します。

横浜市 教職員 給与が全く上がりません。他県・都のレベルに合うような形でお願いします。

横浜市 教職員 教育環境がよくなるよう、よろしくをお願いします。

横浜市 教職員 教育環境改善のため、ご一考願えれば幸いです。よろしくをお願いします。

横浜市 教職員 神奈川私学の教育環境をより良くするためによろしくをお願いします。

横浜市 教職員 よろしくをお願いします。神奈川の未来のために！

横浜市 生徒 国基準の助成をお願いします。

横浜市 保護者 所得制限までの補助負担金減少幅を極力少なくし、不公平感を無くして頂きたい。

横浜市 保護者 子供の学びの環境に公立・私立の差が無くなるようお願いします。

横浜市 生徒 今、次 高校生になる弟がいるんですけど、自分はこれから大学などの進路にたくさんお金を使うので、安くしてください。

横浜市 保護者 生活がきついのでお願いします。

横浜市 教職員 決してなくなることはない『格差』は確かにあります。ですが幼い子どもが少しでも気を楽にして過ごせるようにすることは可能だと考えています。何の罪もない子どもが苦しむことのない社会を実現できるような制度を望みます。

横浜市 生徒 親へのお金の負担をできるだけ少なくしたいのでお願いします。

横浜市 教職員 教育とは本来、全ての人間が等しく受けることを前提として成り立っています。しかし現状では家庭の財力による格差が教育にも影響を及ぼしています。そのため学費補助制度の強化が急務といえます。

横浜市 保護者 安心して私立高校に進学できるようにして下さい。

横浜市 生徒 学費を払うのが大変です。お願いします。

横浜市 保護者 様々な家庭環境があり、事情があります。低所得家庭への補助が大前提だと思いますが、所得等関係なく、子供たちが勉強・スポーツ等のびのびと生活できるようよろしく願いいたします。

横浜市 生徒 私立はこんなにお金がかかるとは思っていなかったので、補助拡大を求めます。

横浜市 教職員 平等は教育をお願いしたいです。

横浜市 生徒 家族に負担をかけたくないです。

横浜市 生徒 神奈川県も他県のように対策をしてほしい。

横浜市 保護者 母子家庭です。神奈川県も年収910万円世帯までの授業料無償化をお願いします。

横浜市 保護者 推薦入学でしたが、授業料の他にも設備費やコーチへの指導料など、色々とお金はかかります。母子家庭のため毎月の出費が大変で、借金しないと通えさせられません。増額して頂きたい。また、公立の様に毎月の出費がない様に援助して頂きたい。

- 横浜市 生徒 サッカー推薦を頂き入学したが、家は母子家庭なので母親が苦しんでいる。増額してください。
- 横浜市 保護者 親も子供の為に安心して通える様にならなっていますが、コロナの中、色々な不安も増えていますので、どうか補助制度を創設して頂きたいです。
- 横浜市 保護者 私立高校は公立の3倍もかかります。その費用に見合った教育とは必ずしも言えません。その上、塾もとなると経済的に厳しいです。私学助成の拡充を望みます。神奈川県は教育に力を入れるべきです。
- 横浜市 保護者 年収が多いからといって生活がラクな訳ではありません。税金は人一倍支払うのに、児童手当・医療費補助も高校生になるとなくなり、1番お金がかかる時期なので補助の拡大を期待します。
- 横浜市 生徒 私が公立高校に落ちてしまって私立の高校に通っているのですが、公立高校と私立高校では3年間かかるお金の金額が倍以上もあり、両親にたくさんの負担をかけてしまっているため、少しでも負担を減らしてほしいです。
- 横浜市 生徒 私立高校に通っていますがお金の負担が大きくて両親に負担がかかっているため、通っている自分自身も暗い気持ちになることがあります。
- 横浜市 生徒 多子世帯の所得制限を廃止してください。助成金を増やしてください。
- 横浜市 保護者 子供の教育に不平等がないように願います。
- 横浜市 生徒 コロナにより大変なので私学助成をお願いします。
- 横浜市 保護者 シングルマザーですが、子供2人を私立に通わせるとなると、学費が年間何百万円とかかります。子供の将来を考え公立高校で学べないことが私立高校では学べる、しかし学費が高い。このような不公平があってはならないので、助成の拡充を期待しています。
- 横浜市 保護者 私立の金は高過ぎます！！ 公立を受けましたが落ちてしまい、私立に行くことになりました。数ヶ月の間に大金が飛んでいき、公立とは大違いツライです。金の準備は親の役目だと思っていますが、公立と同等にしてほしいです。
- 横浜市 生徒 母1人で私と2人兄ちゃんの学費を払うのはとても大変なことです。年間何百万もかかることになりました。お金の負担が大きくてつらいです。お願いします。
- 横浜市 保護者 全国最低レベルの私立学校経常費助成を国基準以上にして下さい。
- 横浜市 生徒 通学にはお金もかかるし、バイトをやろうと思うと部活などができなくなってしまうので、支援よろしく願います。
- 横浜市 保護者 コロナ禍の状況で私立高校の手厚さを感じます。年収等で制限される事なく助成を受ける事が出来る事を切実に願います。
- 横浜市 教職員 教育の質を低下させないよう十分な予算をとってください。
- 横浜市 教職員 私学の35人学級実現のため、公立と同等の授業料無償化をお願いします。
- 横浜市 生徒 私は自立援助ホームから私立高校に通っています。そういった場所からかよっている学生は他にもいます。特別補助制度を創設し、通いやすい環境を整えてください。
- 横浜市 保護者 経済的理由により部活動を辞めたり、希望する進路への路が閉ざされています。将来の社会を背負う若者に正答できる教育の時間や場を保障してください。
- 横浜市 保護者 公立・私立に経済的な壁を作らず、子供達の学びたいという気持ちを尊重できる様になればと思います。

横浜市 生徒 子どもを多く持つ親にとっては負担が大きいです。僕も親も学費に苦しんでいました。皆が安心して学べる環境が増えてほしいので、私学助成をしていただけると幸いです。

横浜市 保護者 がんばってください。

横浜市 保護者 私立高校の学費は公立高校の6倍かかり、子どもを3人かかえると経済的にかなり負担がかかります。学費補助を全国の平均レベル以上にする様お願いします。

横浜市 教職員 公教育だけでは充たしきれない実状、学費負担の差が余りにも著しい。これは理不尽である。

横浜市 教職員 私立学校は独自の教育方針を持っている。私立と公立の互いの利点を協調させて現状の教育現場は成り立っている。そこに教育費の不平等があってはならない。

横浜市 生徒 私立にはお金がかかる悪い印象があるので変えてほしい。

横浜市 教職員 より学校選択の幅をひろげるために私学助成をすべきだ。

横浜市 保護者 未来の子供達が安心して通学できるように、埼玉県や東京都にならって県独自の学費補助をさらに拡充してください。

横浜市 保護者 子供が希望した進路に進ませてあげられない理由として、一番は高額な授業料と施設設備費が一番の負担になります。兄弟がいればなおさらの問題になり、どちらかは諦めなければいけない状況です。

横浜市 保護者 私立ならではの手厚いサポートを経済的な心配をせず受けられるようお願い致します。

横浜市 教職員 私立学助成の拡充を実現できることを望みます。

横浜市 家族

横浜市 生徒 私は私立の高校に通っているため、塾へ行くことが出来ず、勉強がもっとやりたいのにすることができません。もっと勉強したいです。

横浜市 生徒 コロナで今まで以上に支えが必要になり、補助金は全国レベルなので、もっと子どもを支えられるように増やしてください。

横浜市 生徒 お金の負担があるので公立を受けようと考えていましたが、どうしても行きたい学校が私立で経済的に大変なので助成の実現をお願いします。

横浜市 生徒 必要などころに必要なだけの設備をお願いします。

横浜市 保護者 現在コロナ禍で、私立に対する処置が改善されてきたと感じております。

横浜市 生徒 他の県と比べて経常費補助が劣っていることは、県の大きな問題であり、改善すべき点だと思います。さらに過ぎやすくなるようよろしくをお願いします。

横浜市 保護者 大学に通う娘もあり、子供たちの学費を捻出するのに苦勞しております。授業や課題、部活動等に励む姿を見ると、バイトを増やしてほしいとも言えません。親子共、心配なく学業に専念できるよう、どうか補助の拡大・拡充をお願い致します。

横浜市 保護者 すべての子供が希望の公立高校に進めるわけではありません。であるならば私学の学費補助をさらに拡充していただくのが教育の平等だと考えます。

横浜市 教職員 私立学助成拡充をお願いします。子供3人をかかえていると経済的に苦しいです。

横浜市 保護者 私立は環境や設備の他、教育に関しても目が行き届いているので、通わせて後悔はしていませんが、やはり授業料、入学金などは高いなと思います。年収等で制限するのではなく、もっと手厚い助成を期待しています。神奈川県民でよかったと思えるようにして下さい。

- 横浜市 保護者 子供が2人います。上の子を私立に通わせとても充実していると感じていますが、2人目とも思うと経済的に厳しいのかと心配になっています。私学助成の拡充を望みます。
- 横浜市 生徒 家族に金銭的負担がかからないように、年収が910万円以上の家庭にも授業料の補助をしてほしい。
- 横浜市 保護者 所得制限があるので、私立に行くことになってしまい、フルで仕事をする事になりました。全て授業料の支払いにまわしています。所得制限なしをお願いします。
- 横浜市 保護者 大学生と高校生の子どもがおり、2人とも私学に通っています。所得制限で1円も助成を受けられてません。学校に通えて、生活もできてはいますが、所得なりに大変な仕事での負担をしています。所得だけで見ないでほしいです。
- 横浜市 保護者 年収910万ギリギリで保障がないのは痛い。しっかり納税しているのだから無償にしてほしい。働いて納税するのが嫌になるような国や県・市にしないでほしい。
- 横浜市 保護者 老人を支える未来ある子供に税金をもっと使うべきだと思う。
- 横浜市 教職員 勉強や部活を頑張る生徒たちが、お金に関する不安を少しでも感じずに学校生活を送れるよう、学費補助制度のより一層の充実をよろしくお願いします。
- 横浜市 保護者 毎月の授業料も負担になりますが、年に一回の施設費もかなりの負担になります。兄弟がいればなおさら負担が重なります。子供が希望した進路をあきらめさせることを避けたいです。
- 横浜市 生徒 将来の自分の姿、大人になった自分がどのようになっているか。消去法で自分の未来を選ぶのではなく、自由に進学先を選ぶ事が出来、家族の負担を少なくする為に補助の拡充をお願いします。
- 横浜市 生徒 親への負担をなるべく少なくするために学費の補助金をお願いします。私には兄が一人いて、私も兄も私立になってしまい、親が残業をよくするようになってしまいました。そんな家庭を減らしていくために、どうかお願いします。
- 横浜市 生徒 公立に落ちて私立にきたけど、お金が高くて毎日が不安定で精神的にきてます。子どもの気持ちも考えてほしいです。
- 横浜市 保護者 コロナになり、年収も減ってしまったので、所得制限にかかわらず高校生まで一律で学費補助をしてほしい。
- 横浜市 その他 一人でも多くの子供達が助成を受けられる様、拡充をお願いします。
- 横浜市 教職員 助成拡充により教育をうける保障をお願いします。
- 横浜市 生徒 神奈川県で今後高校へ行く方がお金を考えないで選べるように学費補助をお願いします。
- 横浜市 保護者 年収910万円以上の家庭は継続的に高額な税金も納めているのではないのでしょうか？低所得家庭の支援も重要ですが、子育ての為に頑張っている年収910万円以上の家庭にも配慮をいただきたいです。
- 横浜市 保護者 子供達が行きたい学校へ行かせてあげたいけれど、学費が高すぎてどうしても公立へと選択をせまられる中で不合格になってしまい、私立へ通う事になりました。経済面で苦しいですが、今では私立で良かったと思っています。なので選択の1つに私立を加えられるよう、もっと補助があると助かります。
- 横浜市 生徒 たくさんの人が助けを求めていると思うので、がんばってもらいたいです。

横浜市	保護者	ひとり親です。2人の子どもが私立に通い、経済的に本当に苦しい状況です。私学助成拡充を心から望みます。
横浜市	保護者	多子世帯の所得制限廃止し、学費補助を願います。
横浜市	保護者	他県に比べて劣っているのは寂しい限りです。授業料無償化の年収をもっと引き上げて欲しいです。
横浜市	生徒	学費補助制度がたくさんの人に出ると良いと思います。
横浜市	保護者	公立と私立では差がありすぎます。いくら高収入でも私立に1人通わせるのはとても大変です。ましてや兄弟がいればなおさらです。収入に関係なく安心して私立に通える様どうかよろしく願います。
横浜市	保護者	3人娘の長女は私立高校でした。夫と私で働きなんとか乗り越えました。2年前に主人が亡くなり、三女は学費補助を受けながら私立高校に通わせて頂いております。とてもありがたいのですが、長女の時を思い出すと夫婦共働きでもとても家計が苦しかったです。やはり子供の人数も軽減の対象にして頂くとありがたいです。
横浜市	生徒	公立を受けましたが落ちてしまい、私立に行くことになり、親に大量のお金を出してもらってお金のことで心配になっています。公立と同じにしてほしいと思っています。また、その学校に払うお金は、何に使っているのかなど追いついてもらいたいです。
横浜市	生徒	教育を受けることは、公立も私立も平等なのに、私立だけ学費負担が多いのはおかしいと思う。私学にも助成金を増やしてほしい。
横浜市	生徒	大学まで進学することを考えると本当にたくさんのお金がかかるので、親の負担が心配です。負担が軽減できるように助成を整えてください。
横浜市	保護者	私立高校の助成金はとてもありがたいです。コロナ禍で厳しい中、皆が安心をして学校に通えるように私立中学・高校の助成金の拡充をよろしく願います。
横浜市	生徒	下に2人兄弟がいて、このままでは2人同時に大学に行くことが、すごく大きな負担になってしまいます。安心して勉強できる環境をつくってください。
横浜市	保護者	事実、私立高校の学費は高すぎます。全国最低レベルの経常費助成の引き上げを期待しています。
横浜市	保護者	ご支援よろしく願います。
横浜市	生徒	公立と同じ授業料で私立に通いたいです。
横浜市	生徒	父子家庭で父にあまりお金の負担をかけたくないなので、ご支援よろしく願います。
横浜市	生徒	両親の負担を減らしたい。
横浜市	保護者	経済的な心配なく進学できるよう私学助成金の増額を切に希望します。
横浜市	保護者	学びの場を平等になるよう、私学助成の拡充をしていただけるようお願い致します。
横浜市	保護者	神奈川県は多くのすばらしい私立中高があるにもかかわらず、他都道府県に比べ、制度が整っておらず、通わせるには経済的な心配が伴います。補助の拡充を求めます。
横浜市	保護者	年収910万円以下であっても事情は様々です。750~910万の家庭にゆとりがあるわけではありません。時間にゆとりがあるわけでもありません。収入を得ていることで助成に不公平感を抱くようなことがないよう、助成の拡充を強く希望いたします。
横浜市	保護者	長女が大学受験の時に、次女が中学受験の為、学費の免除があると助かります。
横浜市	保護者	助成を国基準にしてください。

- 横浜市 保護者 住んでいる場所で学費負担が異なる異常な事態が拡大している。差別だと思う。
- 横浜市 保護者 学ぶことは平等です。色んな事情により希望通りの進学ができない子供もいます。コロナで世の中が不安定です。私学の助成の拡充を望みます。
- 横浜市 保護者 決して、経済的に余裕があるので私学に入れているのではありません。子供の育成に必要なからです。学びは平等です。宜しくお願いします。
- 横浜市 保護者 神奈川県は学生の人口が高いため、ぜひ補助を増やして頂きたいと思います。
- 横浜市 保護者 子どもが安心して生活を送るためには、学費の心配をしないで過ごすことが大切だと思います。子ども達が健やかに成長できますように。
- 横浜市 保護者 神奈川県においても、公立校のみならず、私学の意義、必要性をご理解頂き、少なくとも私学助成を国基準以上にして頂きたく、お願いしたい。
- 横浜市 保護者 お金の心配をせず、自由に学校を選んで学べる環境をあげたいです。
- 横浜市 保護者 コロナ禍で私学の教育の手厚さを感じています。未来ある子供達により多くの選択肢を与えて下さい。
- 横浜市 保護者 神奈川県も私学助成を国基準以上をお願いします。
- 横浜市 保護者 東京都のように収入（年収）の幅の引き上げを希望します。教育の手助けをお願い致します。
- 横浜市 保護者 晩婚化により、子供に一番学費がかかる頃に親の収入が減少してきます。ぜひ県独自の学費補助の拡充をお願いしたい。
- 横浜市 保護者 昨年から続くコロナの影響で収入が減っています。私立に6年間子供を通わせることを止めることがないように、子供たちを支える助成を実現して下さい。
- 横浜市 保護者 平等に学びが出来るようお願いいたします。
- 横浜市 保護者 お金のことで学びに差が出るのはよくないと思います。子供たちに自由に学べる制度をぜひ考えて下さい。
- 横浜市 保護者 神奈川県では公立と私立のバランスをとって公立の定員を決めていると聞きました。希望する生徒が全員公立に進めないのであれば、私学に通う家庭への補助の拡充をすべきかと思えます。
- 横浜市 保護者 学びたいことを金銭面であきらめるということはもったいないと思います。宜しくお願いいたします。
- 横浜市 保護者 現在のような状況がまたいつ起きても安心なように、子どもを支える助成を実現させてください。
- 横浜市 保護者 神奈川県の子供達が安心して私学の充実した学びを受けられるようにして下さい。
- 横浜市 保護者 子ども達が安心して学校に通学できるよう助成を望みます。
- 横浜市 保護者 私学教育の手厚さ、充実さに魅力を感じ、中・高・大と3人の子供を私学に入れています。少しでも家計の助けとなるよう、私学助成拡充をお願いします。
- 横浜市 保護者 神奈川県の子どもたちが平等に自由に希望する進路を選べるように、学費補助を拡充し、より高度な教育を目指して、職員待遇など抜本的に改革して下さい。
- 横浜市 保護者 私立中学・孤高の学校生活が充実するように、私学助成の拡充を望みます。
- 横浜市 保護者 子どもたちが望んだ環境で、伸び伸びと学ぶことができるよう、県独自の学費補助制度を創設して下さい。

横浜市	保護者	横浜市は中学校給食の整備も遅く、医療費の助成も他地域と比べ薄いと感じます。是非、子供たちに向けた環境整備の優先順位をあげて頂きたいと思います。
横浜市	保護者	ぜひ私学助成拡充をお願いします。親への負担をできるだけ少なくできるようにお願いします。まだ下に1人子供がいますが、お金の負担を考えると私立は考えてしまいます。
横浜市	保護者	より良い教育を受けさせたいと思うのは、どの親も同じです。むしろ収入が上がるほどその思いは強くなり、教育に力を注いでいます。ゆとりがあるから私学へ行くのではなく、目的のために様々なやりくりをして通わせていることを本当にご存知なのでしょうか。表面の数字だけでなく中味をとらえ、再考を願います。
横浜市	生徒	学費を無くして欲しい。
横浜市	生徒	安心して勉強したいです。
横浜市	生徒	学校を整備してほしい。学費を気にせず学校に行きたい。
横浜市	保護者	私立に通学したかったのは、この学校で学びたかったから。4人兄弟の一番上、生活は厳しいです。もう少し負担を減らしてほしい！お金の面で勉強が学べないのは子どもに申し訳ない。この学校に通い、大学で将来就きたい仕事もできました。
横浜市	保護者	子どもたちに公平な学習が受けられるよう制度や仕組みを検討していただきたい。
横浜市	生徒	教育費の負担が厳しい。学費を気にせずに通学したい。収入によって学校を選べないのはおかしい。
横浜市	生徒	学費を気にせずに通学したいです。今のままじゃ行きたくてもいけない人たちがたくさんいます。なので、どうか学費を安くしてください。本当をお願いします。効率に落ちてしまって、学費のことで迷惑をかけてしまったというショックが強くなってしまい、病んでしまう人もいます。
横浜市	生徒	学費を気にせず通学し、四年制大学に進学したいです。
横浜市	生徒	教育費の負担が厳しいです。学費を気にせずに通学したい。安心して勉強できるようにしてほしい。収入によって学校を選べないのは不平等だと思う。全ての子どもに質の高い勉強を誰もが授けられるように負担を軽くしてほしい。
横浜市	生徒	学校に通うのは勉強するためですが、教育費の負担以外でも学校の行事のときなどのお金も、コロナによって収入が減っているため、お金の面で負担してほしいと思います。
横浜市	教職員	私学への手厚い支援を期待します。
横浜市	保護者	横浜市の住民として人口の多さゆえの難しい現状も理解した上で、だからこそ教育を自由に受けられる権利を充実してほしいと思います。長女が私学入学し、下の2人にはお金の負担が少ない公立を選択させてしまう前に補助の拡充を望みます。
横浜市	保護者	下の弟が小学生、特別級に通っていて、私（母）が思うように働けず、経済的にも苦しいです。私学助成を実現させて下さい。
横浜市	保護者	私立高校の幅広い拡充により、学びの形も多様化していく中で、県外に本拠地を置く通信制もあり、行政区分の違いによって助成の対象にバラつきや不公平感があります。学びの自由が行政のカベによって制限されることのない様にして頂きたいです。
横須賀市	教職員	これまでの状況改善へのご尽力に感謝致します。引き続きよろしくをお願いします。
横須賀市	教職員	教育に力を入れないのは亡国への途です。その途に神奈川県が進まないことを願うばかりです。

- 横須賀市 教職員 国基準以下の経常費補助という根本的な問題を放置せず、大都市圏に相応しい制度に不断の見直しを続けて下さい。
- 横須賀市 保護者 助成金を増やしてください。
- 横須賀市 生徒 助成金を上げてください。
- 横須賀市 保護者 学費の事を気にせず行きたい高校の選択が出来るなら、将来大きな違いになると思います。
- 横須賀市 保護者 経済的負担が減るよう考えていただきたいです。
- 横須賀市 生徒 私の家は補助金が受けられません。そのせいで親の負担が大きく悩んでいます。教育にかかるお金は平等であると思っています。
- 横須賀市 保護者 私学助成の拡充を実現できることを望みます。
- 横須賀市 保護者 上の子の学資ローンの返済が始まり、下の子の学資ローンを借りてなんとか支払っています。本当に自転車操業という感じです。私学は授業料以外にもたくさんお金がかかります。うちの子が在学中にはこの話は進まなそうですが、よろしく願います。
- 横須賀市 生徒 両親が安心して僕たちを学校へ送りだせるように学費の補助制度の改善をよろしく願います。
- 横須賀市 保護者 税金を多く支払っているが、補助金負担の差があるのは不公平。収入増やすために働き方を変えたのに。
- 横須賀市 保護者 子育てをされていて経済的余裕のある家庭は少ないと思います。親も子もお金の心配をせず、私立学校で学べるように補助の拡充を望みます。施設費の助成もある県があることを知り、神奈川県にも期待します。
- 横須賀市 生徒 私学助成の金額の増額をお願いします。
- 横須賀市 保護者 全国平均よりも授業料等の金額が高いため、負担が多いので、私学助成の金額を増額をお願いしたい。
- 横須賀市 保護者 所得制限があると共働き世帯には厳しいです。少し超えただけで補助が受けられないのはどうかと思います。特にサラリーマンには厳しすぎます。サラリーマン世帯が一番苦しいのですよ。ご検討をお願いします。
- 横須賀市 生徒 自分は公立を落ちて私立にきています。学校は楽しく毎日充実していますが、親にはたくさん負担してもらっているのでそこを何とかしてほしい。
- 横須賀市 生徒 今の状況も楽ではなく、生活は苦しいので、なんとかより良くしていただきたいです。よろしく願います。
- 横須賀市 保護者 子供の学習で足りない課目を補うための塾などに行かせたくても、学校の支払いだけでギリギリな状態です。子供の学力を上げるための支援をなんとか願います。
- 横須賀市 保護者 年収等制限を設けるのではなく、私学に通う全ての子供達を支える助成を実現させてください。よろしく願います。
- 横須賀市 生徒 一人親で私立に通うのはとても大変です。お金のことを気にせず通えるようにしてください。
- 横須賀市 生徒 収入が多いと補助金がもらえないのはおかしい。

- 横須賀市 生徒 第1希望の公立高校に落ちてしまった人や、私立高校に元から行きたいと思っている人にとって公立高校より学費が高い私立は金銭的に困る家庭もあると思います。家庭の金銭的な不安を軽減したり、日本の未来を担う若者の選択肢を増やすためにも、私学助成を進めてください。お願いします。
- 横須賀市 生徒 いつも神奈川のためにありがとうございます。もっと学生が夢を叶えられるよう、お金で未来が左右されないよう、よろしくお願い致します。
- 横須賀市 生徒 コロナの影響で教育費の負担が厳しいです。学費のことを気にしないで勉強がしたいのでよろしくお願いします。
- 横須賀市 生徒 コロナの影響で教育費の負担が厳しいです。毎日毎日お金のことを気にしながら学校に通いたくないです。学生がこんなことを考えているこの状況を県知事さんは無視できますか。動いて下さい。
- 横須賀市 生徒 収入によって学校を選べないのはおかしいと思います。好きな所に行きたい。
- 横須賀市 生徒 もともと金銭面で厳しいから公立に行って欲しいと伝えられていたけど、どうしても今の学校に通いたくて無理を言って私立に入れてもらった上に、コロナで仕事が減ってしまっているのが本当に親に申し訳ないので少しでも負担を減らして欲しいです。
- 横須賀市 生徒 自分は私立学校に通わせてもらっている立場ですが、やはり親への負担がとても心配です。そして、未来の学生さんのためにも、私学助成拡充を実現してもらえると嬉しいですね。よろしくお願い致します。
- 横須賀市 生徒 私学に進学したことにより、親に対する罪悪感があり、過ぎづらいと感じているので私学助成を実現させてほしいです。
- 横須賀市 教職員 収入によって学校を選べないのはおかしい。
- 横須賀市 教職員 全国最低レベルの私学助成を増額し、平等な教育を可能にしてください。
- 横須賀市 生徒 私の家は三つ子です。なので、いっぺんに高校に行くので多額のお金がかかってしまいます。なので少しでも安くできるのであればお願いしたいです。
- 横須賀市 保護者 娘と私たちの求める教育の形と、学びやその私立学校の特色など、希望しても金銭面において足かせになってしまうのは、本当にもったいなく辛いと思います。どうぞよろしくお願い致します。
- 横須賀市 保護者 将来の子供の学費を考えると、これから少子化はもっとすすんでいくと思います。
- 横須賀市 生徒 少しでも将来、社会貢献できる社会人になるために、しっかりと自分にあった勉強ができる学校に行きたいです。そのためには助成が必要です。どうか私学への学費補助をよろしくお願いいたします。
- 横須賀市 保護者 公立学校も私学も学校の特色があります。子供達が自分に合った、興味を持てる学びの場を見つけ、自由に学校を選択できるチャンスを下さい。私学はお金がかかるから行けないと、諦める事がない社会にして下さい。子供達が、生き生きと学ぶということは、これからの国の未来にもつながることだと思います。
- 横須賀市 生徒 私の過程は母子家庭なので、母一人の稼ぎでは学費を支払っていくのが厳しいです。また私立はバイト禁止のところが多いので、それを含めて補助をさらに拡充して下さい。

- 横須賀市 保護者 娘が2人おります。下の子は手術経験あり、私学への道を考えていた為、上の子が私学を考えた際は、家庭の事情、金銭面での差を話し、公立に進んでもらうようにしました。本人も考えてくれたのです。進みたい方向に、お金の心配なく学べることを望みます。
- 横須賀市 保護者 すべての子供達に学ぶ権利があり平等です。所得制限を廃止してください。
- 横須賀市 保護者 子供が中学生<高校生<大学生と、学費や習い事への金額もどんどん膨らむばかり。お金の不安からどもの可能性をつぶしたくないです。年収制限に不満を感じます。
- 横須賀市 保護者 私自身、県内の公立高校卒業生です。息子、娘が私立高校生ですが、伝統ある学校が多く、生徒に親身になって指導して下さり、私立高の良さに驚きました。と同時に、教育費の負担の厳しさに直面しています。補助金を上げて下さい。私立高校で学ぶ事は県民の権利です。
- 鎌倉市 教職員 よろしくお願いいたします。
- 鎌倉市 教職員 35人学級は生徒にとっても教員にとってもよい環境です。その実現のために助成の拡充をお願いいたします。
- 鎌倉市 教職員 神奈川私学に子どもたちが安心して通え、また、よい教育環境で学べるようになってほしいと思います。
- 鎌倉市 生徒 私たちの私学助成拡充を増やしてください。
- 鎌倉市 生徒 公立と同じようにしてください。
- 鎌倉市 生徒 もっと気軽に私立へ行けるようになってほしいです。
- 鎌倉市 保護者 金銭面を気にすることなく、高校選びの選択肢を増やせるようになってほしいです。よろしくお願いいたします。
- 鎌倉市 保護者 私学の特色ある学びを希望しても、家の経済的事情であきらめる子、公立が残念な結果に終わり私学に進学することになって親や人からお金のことでいろいろ言われてしまう子、そんな子供たちの心を少しでも軽くしてあげて下さい。
- 鎌倉市 保護者 高校受験の際、志望校を決めるにあたり、とても行きたい公立がありましたが内申が少し足りず、チャレンジするか迷いました。お金の事もあり、できれば公立でと内心思いましたが、助成があるのならなんとかできるかもと娘のチャレンジを応援することができました。現在私立に通学していますので助成はありがたく、更なる拡充を希望します。
- 鎌倉市 保護者 子供2人（私立高校）のため、かなりの学費がかかっております。所得制限があるため、我が家は全く助成を受けておりません。制限なしの学費補助を希望致します。
- 鎌倉市 保護者 助成金が出るスピードが遅すぎて自己負担してるのと変わらない。早くしてくれ。税金もくるのにしゃれにならん。
- 鎌倉市 生徒 教育費の負担が厳しすぎて安心して勉強できません。学費の心配せずに安心して勉強できるようにしてほしいです。
- 鎌倉市 生徒 コロナの影響で親の仕事が減ってしまっているため、教育費の負担が厳しいです。また、収入によって学校を選べないと将来の道が減ってしまうのはおかしいと思います。学費を気にせずに通学したいです。
- 鎌倉市 保護者 私学の教育方針はとても素晴らしく、入学させたいと考える親は多数いましたが、授業料で諦めてしまいます。その先の進学、兄妹の学費の心配もあるからです。親の所得ではなく、将来日本を支える1人の子供として平等に考えていただきたいです。

鎌倉市	保護者	子供達が親の経済面を気にせずに、自信の未来へと希望する進学先を自由に選び、学べる環境になるよう助成を実現させて頂きたいです。
鎌倉市	生徒	私が私立に入ることに決まって、一番不安だったのが、親にお金の面で負担をかけることでした。なので同じ人が減るように補助して下さると嬉しいです。
返子市	保護者	高校生活の充実は、家計の負担を無くして平等に教育が受けられるようにしてほしいです。
返子市	保護者	年収の上限枠を無くしてほしい。
返子市	生徒	私は学費を気にせずに通学したいです。コロナの影響で親に負担がかかるので免除お願いします。
三浦市	保護者	経済的な面で諦める事がないよう、公立・私立同じくらいの負担でお願いしたいです。
三浦市	生徒	勉強している内容など、公立とあまり変わらないのに、公立校に落ちた生徒は多くのお金がかかり大変心配なので考えていただきたい。親への心配も多いです。
三浦市	生徒	自分のやりたい事があって、今行っている学校に行けているけど、中には収入によって学校を選べない人もいるからおかしいと思うし、私は弟と妹がいるので、少しでも親へのお金の負担をなくしてほしいです。
三浦市	保護者	教育条件向上、保護者の負担軽減、学校の経営の健全化！！私学にお金の心配なしで通わせる世の中にしてほしいです。私学助成の拡充をお願いします。
三浦市	保護者	夢をかなえる為、私立に入学させましたが、施設費が高いと思っています。2人目も私立に行きたいと言っていますが、このままでは行かす事ができません。子供・親が安心して私立に通わせることができたなら良いと思います。
葉山町	教職員	補助が少ないことで学力まで全国最低レベルにこのままだとなる可能性もあります。少子化だからこそ1人1人に手厚い教育を受けられるようにしてください。
葉山町	教職員	未来の日本を担う子どものために、選択肢を増やしてあげたい。
葉山町	保護者	私立学校も35人学級をお願い致します。
相模原市	保護者	質の高い教育を、子ども達が平等に受けられる環境を整えてください。よろしく願いいたします。
相模原市	保護者	授業料は無償化されてきてますが、施設設備費の補助はありません。交通費も高いので出来たら補助される事を願います。また、補助金もあとから支給されるので先に受給してほしいです。
厚木市	生徒	早く学費補助制度を改善してほしい。
厚木市	生徒	少しでも学費を安くしてほしいです。
厚木市	生徒	厳しい世の中なので、私立学校になってもあまり負担のない、少しでも楽できるようにしてほしいです。お願いします。
厚木市	生徒	このおかげで、私みたいな人がお金が足りなくても学校に行くことができます。すごくありがたいと思っています。それでもまだ足りない人がたくさんいると思いますので、未来に私学助成金を増やすととても助かります。
大和市	生徒	県独自の施設設備助成を創設してください。
大和市	保護者	多くの学校がある神奈川県が、私立学校経常費助成が全国最低レベルにあるのはなぜでしょうか。補助の拡充をお願い致します。

- 海老名市 生徒 もっとお金がかからないようにして下さい。
- 座間市 生徒 授業料が1ヶ月33,000円は高いので安くしてください。よろしくお願いします。
- 綾瀬市 保護者 多子世帯の所得制限および補助額を上げて下さい。
- 綾瀬市 生徒 学費補助をさらに拡充お願いします。
- 平塚市 保護者 同じ中学生で公立だと無料、私立だと有料なのは公平ではないと思います。公立でも私立でも全員に補助をお願いします。
- 平塚市 生徒 公立と私立の差がすごいので、少なくしてください。
- 平塚市 生徒 私は国際に関わる大学に行きたいです。その大学の資料をみたところ、かなり高額でした。私は海外で日本語教師になることが夢なので、大学で勉強して夢を叶えたいです。
- 平塚市 生徒 子どもたちには平等に教育を受ける権利があるはずなのに、家庭の経済的な理由で、望む学校に通えなかったり、大学・専門学校を諦めてしまう人がいることはおかしいと思います。
- 藤沢市 保護者 子供達が行きたい高校へ心配せず進学出来るように、私学助成拡充をお願いします！
- 藤沢市 生徒 私立高校に入る時の入学金をもう少し減少してください。
- 藤沢市 教職員 私と弟は高・大と私立でした。決して所得が低いという訳ではありませんでしたが、2人の学費合計と、今の私の所得を比べると恐ろしいです。せめて今の子どもたちだけでも、金銭面の自由を望みます。
- 藤沢市 その他 大学進学条件が、2年分の学費を自分で払うというものでした。今、一生懸命奨学金を返しています。大変です。子どもたちに同じ思いはしてほしくありません。補助をお願いします。(教員親族)
- 藤沢市 保護者 私自身は神奈川出身ではありませんが、これだけ大都市がある神奈川県が教育の補助レベルが全国下位であるという事が、とても残念に思います。拡充を期待しております。
- 藤沢市 生徒 学費を気にせず学校を選びたい。
- 藤沢市 教職員 経済的に厳しいご家庭が増えています！私学助成を充実させて子どもたちに明るい希望を与えて下さい。
- 藤沢市 生徒 学校を選ぶとき、学費の関係で行きたい学校に行けないし、もし入ったとしても、その後の生活が苦しくなるのは親にの申し訳なくなります。収入のせいで選べる学校が絞られてしまうのは不平等だと思います。
- 藤沢市 生徒 私は三人兄弟で、今のところ私と姉が私立に通っています。姉はもう卒業し大学へ行きましたが、まだ下の子もいるので、少しでも親の負担を減らしたいです。
- 藤沢市 生徒 将来への負担が少しでも減ることを祈ります。
- 藤沢市 生徒 私立高も公立校も同じ学校という学ぶ場所なのに、そのような場所に払う金額に差があるなどありえないと思う。その点をしっかり話し合ってほしい。
- 茅ヶ崎市 保護者 子供に学費の負担をさせたくないです。
- 茅ヶ崎市 生徒 学費補助お願いします。
- 茅ヶ崎市 生徒 私には弟がいますが、自分が私立に通っているため、塾や部活用品も新しいのを買ってあげられません。そして私は部活をやっているのでバイトもできません。どうかお願いします。お金の面でとても心配です。

茅ヶ崎市	生徒	私の努力不足のせいで、私立の学校しか受けることが出来ず、お金を借りるまでして親に負担をかけてしまいました。未来のためにも補助の拡充をお願いいたします。
秦野市	生徒	親への教育費負担がとてもしんどいです。他の県のようにしてください。
秦野市	保護者	他県と比べて学費補助が少ないので、国基準以上をお願いします。
秦野市	生徒	家族が多く、お金がかかるのに私立に通っているのがすごく申し訳ない。私は私学助成をもっと増やしてほしいです。
秦野市	生徒	周りにアルバイトを行っている生徒も多いですが、進学のために必要なお金を稼ぐのに勉強の時間がなくなってしまうのは、おかしい事だと思います。
伊勢原市	生徒	安心して進学できる私立学校を創設してほしい。
伊勢原市	生徒	私はなりたかった職業がありましたが、お金がなかったため、その職業の勉強もなることも諦めました。このような子供を少なくするためにも、上記のことを行ってほしいです。
寒川町	生徒	国基準以上にしてほしい。
大磯町	生徒	補助金をもっと出してほしいです。
大磯町	生徒	一律にしてほしい。同じようにしてほしい。
大磯町	生徒	私立学校に通っている私たちや、これから進学する子たちのために、見直してほしいです。
大磯町	生徒	神奈川はシングルマザーへの補助もなく、それだけでも他の県より負担が多いのに、免除も他県より少なく、親が働きづめになっているので、いつ体をこわすか分からない。少しでも負担を減らしたいです。お願いします。
大磯町	生徒	学費のためにアルバイトをしている方々もたくさんいます。そういう方々を減らすためにもよろしくをお願いします。学校にはバイトをするため、学費を稼ぐために来ているわけではありません。学習をするために来ているのです。
小田原市	教職員	すべての生徒が学費を気にすることなく、公私に通える世の中を実現してほしい。少子化がすすんでいる中、クラス定員を少なくできるように教員養成にも力を。
小田原市	教職員	少しはお金がない人たちの苦労をわかってあげましょう。
小田原市	教職員	色々な理由で私学を選んで学んでいる子供達に、経済的な心配をしなくても通学ができるように、県独自の学費補助をさらに拡充して下さい。
小田原市	教職員	子どもの教育の充実が、日本の明るい未来を作ります。よろしくをお願いします。
小田原市	教職員	教育にもっと力を入れてほしい。
小田原市	教職員	私学助成拡充をよろしくをお願いします。
小田原市	教職員	教育の IT 化で生徒達には iPad を購入させています。授業料以外にもかかる費用が増えていますので、そちらにも補助していただくと助かります。
小田原市	教職員	教育の拡充を希望します。
小田原市	生徒	公立と私立のお金の差がすごいし、私立に対しては学費などが高すぎなので、せめて同じくらいの学費にしてほしい。
小田原市	生徒	私の家庭は母子家庭で、母は働いていて、私も週4日程度アルバイトをして、携帯代、服代などは自分で出していますが、やはり金銭的には厳しいです。なので学費の負担が少しでも減るととてもありがたいです。よろしくをお願いします。

- 南足柄市 教職員 日本の将来を担う若者に掛かる教育費に関しては、行政が負担すべきです。それが国際水準であることを国民に知らせるべきであると共に、行政の責任です。
- 南足柄市 生徒 大学に私は行きたいので授業料が低くなったり、私学助成金が増えるといいと思っています。
- 南足柄市 生徒 お金が足りなくて安心して学校に通うことができないから、もっとお金をふやして安心して学校に通いたいです。
- 松田町 生徒 学費が無償化になることを願う。
- 山北町 生徒 大学へ行きたいのに経済的な理由で行けないのはおかしいと思います。私学助成の拡充をお願いします。
- 山北町 生徒 親に負担がかからないように、お金を減らして欲しい。
- 山北町 生徒 私立学校に通っていますが、公立学校と比べて学費が高いので、私立も公立と同じ学費にしてほしいです。
- 開成町 生徒 学費の補助をお願いします。
- 開成町 生徒 今後自分たちが進学する時や、将来の為にも学費はとても重要なことなので、私立学校の学費補助を求めます。
- 箱根町 生徒 学費がもっと安くなるいいと思いました。
- 箱根町 生徒 金の関係で私学に行きたいけど行けない人がいるので、少しでも授業料を安くしてほしいです。
- 真鶴町 生徒 お金の問題で進学できない可能性があり不安です。助成金を増額してください。お願いします。
- 真鶴町 生徒 神奈川県は私立学校の経常費補助がとても少なく、私達の学費の負担が大きいので補助をしてほしいです。
- 真鶴町 生徒 私たち高校生がお金の心配をすることなく学校へ通えるようにしてください。みんなが学ぶ機会を奪わないで下さい。よろしくお願いします。
- 湯河原市 生徒 学費免除をお願いします。
- 湯河原市 生徒 母子家庭というのもあり、家庭も苦しいと思うので、補助を求めます。
- 湯河原市 生徒 私の親は片親で、精神疾患持ちのため、働くことができません。なので、無償化してください。バイトで勉強の時間が減り、大学進学の為にお金を貯めているのに、進学できるかわかりません。
- 大井町 生徒 僕は私立高校に通って居る高校生です。大学進学を目指しているのですが、もし国公立に行けなかったらと思うと不安でなりません。充実して僕ら学生が勉強できるような環境が出来るように望んでいます。
- 中井町 生徒 お願いします。
- 二宮町 生徒 私は生徒の立場で親がどのくらいの金額を高校に通うために出してくれているのか、よく知りませんでした。公立でも私立でも同じ高校生なのに、払う金額に大きな差が出ている

		のは差別だと私は思います。なかには生徒が大学に通うためにバイトに行っているなども耳にしました。
二宮町	生徒	学びたいと考え学校に入った生徒がお金の心配をしたり、また、生徒がお金を稼がなければならないという現状があります。改善してほしいと思っています。
二宮町	生徒	国のほぼ中心に位置する神奈川なのに、私学助成が再開レベルなのはおかしいと思います。たとえ県が豊かでも、県に住んでる人が、子どもが苦しんでいたら意味がないです。増額してください。
清川村	保護者	家庭的に助成金を増やしてもらおうと助かる。
清川村	生徒	お金が裕福ではない自分の家族がみんな公立に行ったのに、自分は私立に行ってしまうて申し訳ないです。なのでお願いします。
東京都 大田区	保護者	我が家は東京都在住です。ですが、息子が学びたい、入学したいと願った学校は神奈川県 の私学でした。息子に最良の教育を願い、神奈川県 の私学に入学させはしましたが、もしもこれが東京都や他県ならばもっと補助が・・・そう考えないこともありません。どうか神奈川県でも国基準以上の助成をお願い致します。
東京都 町田市	教職員	何卒よろしくお願い致します。
東京都 品川区	教職員	私学教育に対し、割くべき予算をちゃんと割くようにお願いいたします。教育を軽視してはなりません。
東京都 大田区	教職員	数年前に大田区に引っ越したのですが、川ひとつ隔てるだけでこんなに違うのかと驚いています。
東京都 大田区	生徒	よろしくお願いします。
東京都 大田区	保護者	年収等で制限を設けるのではなく、私学に通う全ての子供達を支える助成を実現させてください。
東京都 大田区	教職員	経済的に厳しく、部活動に入りたくてもアルバイトで家計を支えなければならない生徒が多く、何かに打ち込ませる環境への援助をお願いします。
東京都 町田市	その他	経済的な負担がなく私立学校へ子どもを通わせることができるよう、私学助成を増額して下さい。
東京都 世田谷区	教職員	子どもたちが経済的な不安をしないで教育を受けられるよう、教育予算を十分に確保していただきますようお願い致します。
静岡県 御殿場市	生徒	私立と公立で、下りるお金が違うのはおかしいと思いました。法律にもあるように、きちんと平等になった方がいいと思います。
新潟県 新潟市	その他	未来ある子供たちに学びの機会向上を求めます。

2022年度私学助成資料集

2022年9月 編集・発行 全国私学助成をすすめる会・全国私教連

①2022年度 世帯年収別学費補助額 都道府県別一覧

都道府県	2021年度学費平均額				2022年度 世帯年収別学費補助額													学校負担	奨励補助 年収上限	世帯 年収 円				
	授業料	施設 設備費	学費	入学金	生活 保護	非課税	~350万	~450万	~500万	~550万	~610万	~620万	~640万	~700万	~710万	~720万	~730万				~750万	~800万	~840万	~910万
北海道	400,221	41,748	441,969	195,309	授業料上限 402,000													118,800	0	590万円				
青森	424,212	70,351	494,563	58,627	授業料上限 396,000													237,600	118,800	0	710万円			
秋田	333,600	178,895	512,495	154,000	授業料上限 396,000													118,800	0	県単なし				
岩手	388,890	67,418	456,308	96,154	授業料上限 396,000													257,400	118,800	0	620万円			
山形	445,757	74,043	519,800	124,285	授業料上限 408,000													授業料上限 264,000	0	910万円				
宮城	403,474	278,854	682,328	59,237	授業料上限 396,000													授業料上限 237,600	118,800	0	20~10%	590~620万円		
栃木	378,729	37,789	416,518	139,412	授業料上限 344,600	授業料上限 471,000													授業料上限 396,000	257,400	118,800	0	620万円	
茨城	384,875	255,442	640,317	182,708	授業料上限 396,000													118,800	0	10%	県単なし			
栃木	390,429	176,390	566,819	147,143	授業料上限 396,000													118,800	0	10%	県単なし			
群馬	413,852	160,039	573,891	130,365	授業料上限 396,000													165,120	23,100	23,160円は全世帯一律				
埼玉	381,733	210,077	591,810	224,927	学費全額	学費 596,000													授業料上限 396,000	387,000	118,800	0	720万円	
千葉	360,622	224,683	585,305	147,953	授業料上限 522,000													授業料2/3上限 241,200	118,800	0	750万円			
東京	466,545	214,391	680,936	252,688	授業料上限 469,000													0	0	910万円 多子上限 なし				
神奈川	458,537	274,791	733,328	210,961	授業料上限 456,000													193,200	118,800	0	750万円			
山梨	397,418	180,303	577,721	133,182	授業料上限 396,000													118,800	0	県単なし				
長野	400,313	105,500	505,813	124,375	授業料上限 396,000													118,800	0	県単なし				
新潟	352,759	85,450	438,209	152,590	学費上限 419,800	授業料上限 396,000													118,800	0	非課税			
富山	394,800	38,493	433,293	114,500	授業料上限 396,000													158,400	0	910万円				
石川	354,667	120,690	475,357	73,333	授業料上限 396,000													262,800	118,800	0	730万円			
福井	349,560	125,458	475,018	5,542	学費全額	授業料上限 335,000													0	910万円				
静岡	437,893	102,671	540,564	92,648	授業料上限 513,000	授業料上限 453,600													授業料上限 396,000	118,800	0	750万円		
愛知	423,499	35,916	459,415	203,321	授業料上限 422,400													授業料1/2額上限 211,200	118,800	0	840万円			
岐阜	395,467	121,253	516,720	120,867	授業料上限 396,000													237,600	118,800	0	750万円			
三重	358,769	202,838	561,607	51,346	授業料上限 396,000													237,600	118,800	0	700万円			
滋賀	429,400	218,200	647,600	152,000	授業料上限 396,000													178,200	0	910万円				
京都	554,685	185,673	740,358	95,923	学費全額	学費上限 650,000													198,800	0	910万円			
大阪	592,635	33,394	626,029	192,489	学費上限 600,000													1人:400,000 2人:500,000 3人以上:600,000	0	800万円 多子910万円				
奈良	545,067	86,533	631,600	143,333	学費上限 570,000	学費上限 483,000	授業料 396,000													118,800	0	350万円		
和歌山	456,911	89,111	546,022	157,778	授業料上限 396,000													118,800	0	県単なし				
兵庫	433,672	201,927	635,599	227,500	授業料上限 408,000													218,800	168,800	0	910万円			
鳥取	356,000	66,763	422,763	75,875	学費上限 492,400	学費上限 439,200	授業料上限 396,000													237,600	178,200	118,800	0	800万円
島根	422,400	15,000	437,400	89,000	授業料全額													授業料上限 396,000	148,800	0	910万円			
岡山	392,527	195,912	588,439	82,955	学費上限 456,000	学費上限 444,000	学費上限 420,000	118,800													0	590万円		
広島	425,194	64,151	489,345	193,000	学費上限 600,000													396,000	118,800	0	350万円			
山口	411,016	40,676	451,692	94,050	授業料上限 415,600	授業料上限 396,000													198,000	118,800	0	610万円		
徳島	432,000	159,333	591,333	200,000	授業料上限 412,000													授業料1/2額上限 206,000	118,800	0	750万円			
香川	492,528	83,250	575,778	123,657	授業料上限 396,000													118,800	0	県単なし				
愛媛	371,127	123,127	494,254	45,909	授業料上限 396,000													118,800	0	県単なし				
高知	421,500	46,688	468,188	145,000	学費上限 432,000	授業料上限 396,000													216,800	118,800	0	700万円		
福岡	392,867	190,256	583,123	39,258	学費上限 514,800	授業料上限 396,000													118,800	0	350万円			
佐賀	413,267	128,170	541,437	103,874	授業料上限 396,000													118,800	0	5%	県単なし			
長崎	404,090	58,940	463,030	95,128	授業料上限 459,600	授業料上限 396,000													198,000	118,800	0	720万円		
熊本	387,531	122,276	509,807	68,810	授業料上限 396,000													118,800	0	20%	県単なし			
大分	394,714	32,776	427,490	121,071	授業料上限 396,000													238,800	0	910万円				
宮崎	401,014	65,486	466,500	115,714	授業料上限 396,000													118,800	0	33%	なし			
鹿児島	547,105	43,780	590,885	95,190	授業料上限 514,800	授業料上限 455,400	授業料上限 396,000													118,800	0	非課税		
沖縄	327,750	134,117	461,867	110,000	授業料上限 396,000													118,800	0	県単なし				
全国平均	441,101	148,315	589,416	163,279	396,000													118,800	0	6	700万円 23都府県			

※斜字は県の単独補助の上乗せあり。赤字は前年度から変更のあった箇所。
 ※学費（授業料・施設設備費）と入学金は、岡山県は川崎大付属高校を除く平均値

②私学経常費助成総額 (2021年度→2022年度)

	2021年度	2022年度	21→22年度	2021年度	2022年度	高校分
	高・中・小・幼	高・中・小・幼	差額	高校分のみ 合計	高校分のみ 合計	21→22年度差額
北海道	16,792,199,000	16,239,073,000	-553,126,000	11,452,356,000	11,197,674,000	-254,682,000
青森	3,165,148,000	3,171,457,000	6,309,000	2,806,942,000	2,806,999,000	57,000
秋田	954,964,000	949,266,000	-5,698,000	825,525,000	826,537,000	1,012,000
岩手	2,745,268,000	2,768,964,000	23,696,000	2,261,063,395	2,374,588,000	113,524,605
山形	3,331,654,000	3,607,685,000	276,031,000	3,331,654,000	3,346,192,000	14,538,000
宮城	9,240,207,000	9,017,111,000	-223,096,000	5,523,884,000	5,612,551,000	88,667,000
福島	6,373,484,000	6,257,569,000	-115,915,000	3,884,527,000	3,974,611,000	90,084,000
茨城	10,777,434,000	10,788,571,000	11,137,000	7,627,070,000	7,885,237,000	258,167,000
栃木	7,310,864,000	7,266,389,000	-44,475,000	5,220,062,000	5,313,350,000	93,288,000
群馬	5,402,033,000	5,436,748,000	34,715,000	4,376,997,000	4,412,819,000	35,822,000
埼玉	34,650,427,000	33,882,341,000	-768,086,000	15,809,313,000	16,413,113,000	603,800,000
千葉	33,414,793,000	32,660,509,000	-754,284,000	17,398,612,000	17,637,426,000	238,814,000
東京	121,440,782,000	119,612,760,000	-1,828,022,000	66,904,146,000	67,184,220,000	280,074,000
神奈川	41,155,176,000	40,707,272,000	-447,904,000	21,436,565,000	21,678,047,000	241,482,000
山梨	3,280,180,000	3,253,323,000	-26,857,000	2,270,183,000	2,317,121,000	46,938,000
長野	5,999,525,000	5,840,064,000	-159,461,000	3,666,894,000	3,772,356,000	105,462,000
新潟	5,355,780,000	5,059,521,000	-296,259,000	4,627,304,000	4,620,134,000	-7,170,000
富山	2,253,768,000	2,274,838,000	21,070,000	2,049,889,000	2,274,838,000	224,949,000
石川	4,058,707,000	3,696,524,000	-362,183,000	3,171,380,000	3,131,470,000	-39,910,000
福井	2,438,445,000	2,465,687,000	27,242,000	2,131,926,000	2,187,254,000	55,328,000
静岡	17,784,100,000	17,606,500,000	-177,600,000	11,896,600,000	12,519,900,000	623,300,000
愛知	39,179,769,000	39,747,150,000	567,381,000	21,499,662,000	22,086,022,000	586,360,000
岐阜	8,997,098,000	8,327,235,000	-669,863,000	0	4,296,270,000	?
三重	6,087,420,000	5,887,015,000	-200,405,000	3,677,002,000	3,769,536,000	92,534,000
滋賀	3,537,322,000	3,522,762,000	-14,560,000	2,795,922,000	2,809,040,000	13,118,000
京都	18,607,204,000	18,722,157,000	114,953,000	10,639,601,000	10,828,193,000	188,592,000
大阪	44,832,741,000	45,500,453,000	667,712,000	29,146,447,000	30,415,119,000	1,268,672,000
奈良	6,164,703,000	6,149,593,000	-15,110,000	3,389,476,000	3,427,778,000	38,302,000
和歌山	2,971,849,000	3,015,523,000	43,674,000	1,557,397,000	1,564,424,000	7,027,000
兵庫	20,585,535,000	20,347,823,000	-237,712,000	11,855,608,000	11,747,736,000	-107,872,000
鳥取	1,887,134,000	1,907,139,000	20,005,000	1,603,030,000	1,661,849,000	58,819,000
島根	1,424,131,000	1,431,689,000	7,558,000	1,304,144,000	1,309,714,000	5,570,000
岡山	6,721,419,000	6,643,102,000	-78,317,000	5,152,027,000	5,086,124,000	-65,903,000
広島	15,298,702,000	15,314,722,000	16,020,000	8,602,546,000	8,936,234,000	333,688,000
山口	4,527,901,000	4,407,270,000	-120,631,000	3,492,823,000	3,490,369,000	-2,454,000
徳島	677,328,000	687,649,000	10,321,000	0	272,253,000	?
香川	2,945,581,000	2,949,992,000	4,411,000	2,219,638,000	2,218,510,000	-1,128,000
愛媛	4,432,904,000	4,375,344,000	-57,560,000	3,019,668,000	3,005,181,000	-14,487,000
高知	3,188,192,000	3,261,840,000	73,648,000	1,913,780,000	1,931,383,000	17,603,000
福岡	31,750,421,000	32,289,510,000	539,089,000	19,339,037,000	19,996,391,000	657,354,000
佐賀	2,945,269,000	2,932,416,000	-12,853,000	2,286,071,000	2,319,862,000	33,791,000
長崎	5,555,533,000	5,550,516,000	-5,017,000	4,222,362,000	4,222,362,000	0
熊本	6,637,122,000	6,697,676,000	60,554,000	5,673,220,000	5,806,670,000	133,450,000
大分	4,294,443,000	4,303,584,000	9,141,000	3,250,118,000	3,304,200,000	54,082,000
宮崎	4,034,919,500	4,197,418,000	162,498,500	3,297,445,000	3,417,097,000	119,652,000
鹿児島	6,704,793,000	6,292,765,036	-412,027,964	5,254,335,000	5,496,184,000	241,849,000
沖縄	2,549,758,000	2,590,811,000	41,053,000	2,549,758,000	1,032,019,000	-1,517,739,000
合計	594,464,129,500	589,615,326,036	-4,848,803,464	319,470,089,395	358,882,344,000	39,412,254,605

※石川県および長崎県は県知事選挙に伴い、骨格予算のため、今後数値が変わる可能性あり

④私立高校生への県単独の授業料等補助額の推移(21年度→22年度)

	県単予算2021年度			県単予算2022年度			2021→2022増減 (C) = (B)-(A)	増減割合 C/A (%)
	予算合計額(B)	授業料補助	入学金補助	予算合計額(A)	授業料補助	入学金補助		
北海道	304,367,000	304,367,000	0	303,576,000	303,576,000	0	-791,000	-0.3%
青森	151,068,000	117,018,000	34,050,000	162,194,000	132,344,000	29,850,000	11,126,000	7.4%
秋田	46,492,000	1,920,000	44,572,000	49,713,000	6,054,000	43,659,000	3,221,000	6.9%
岩手	41,545,000	38,552,000	2,993,000	37,425,000	34,800,000	2,625,000	-4,120,000	-9.9%
山形	368,242,000	368,242,000	0	439,181,000	439,181,000	0	70,939,000	19.3%
宮城	73,950,000	11,950,000	62,000,000	46,000,000	10,000,000	36,000,000	-27,950,000	-37.8%
福島	95,763,000	95,763,000	0	103,280,000	103,280,000	0	7,517,000	7.8%
茨城	200,708,000	38,902,000	161,806,000	232,692,000	58,898,000	173,794,000	31,984,000	15.9%
栃木	120,761,000	19,961,000	100,800,000	104,721,000	21,806,000	82,915,000	-16,040,000	-13.3%
群馬	252,931,000	216,871,000	36,060,000	239,410,000	204,550,000	34,860,000	-13,521,000	-5.3%
埼玉	4,940,720,000	4,322,420,000	618,300,000	5,000,375,000	4,386,175,000	614,200,000	59,655,000	1.2%
千葉	1,540,000,000	1,273,000,000	267,000,000	1,506,000,000	1,264,000,000	242,000,000	-34,000,000	-2.2%
東京	16,157,140,000	16,157,140,000	0	14,290,008,000	14,290,008,000	0	-1,867,132,000	-11.6%
神奈川	3,394,643,000	2,476,587,000	918,056,000	3,365,956,000	2,464,616,000	901,340,000	-28,687,000	-0.8%
山梨	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
長野	56,787,000	56,787,000	0	60,436,000	23,233,000	37,203,000	3,649,000	6.4%
新潟	89,164,000	65,580,000	23,584,000	88,471,000	62,602,000	25,869,000	-693,000	-0.8%
富山	122,028,000	75,645,000	46,383,000	109,891,000	70,845,000	39,046,000	-12,137,000	-9.9%
石川	163,519,000	151,484,000	12,035,000	163,047,000	151,015,000	12,032,000	-472,000	-0.3%
福井	495,505,000	494,696,000	809,000	477,335,000	476,048,000	1,287,000	-18,170,000	-3.7%
静岡	1,398,900,000	1,398,900,000	0	1,693,900,000	1,693,900,000	0	295,000,000	21.1%
愛知	5,894,069,000	3,580,669,000	2,313,400,000	6,152,780,000	3,713,010,000	2,439,770,000	258,711,000	4.4%
岐阜	246,838,000	246,838,000	0	401,316,000	311,316,000	90,000,000	154,478,000	62.6%
三益	32,008,000	17,133,000	14,875,000	20,300,000	6,525,000	13,775,000	-11,708,000	-36.6%
滋賀	160,733,000	160,733,000	0	161,372,000	161,372,000	0	639,000	0.4%
京都	3,179,529,000	3,179,529,000	0	3,202,529,000	3,202,529,000	0	23,000,000	0.7%
大阪	15,016,522,000	15,016,522,000	0	15,398,631,000	15,398,631,000	0	382,109,000	2.5%
奈良	118,007,000	118,007,000	0	114,245,000	114,245,000	0	-3,762,000	-3.2%
和歌山	792,000	792,000	0	792,000	792,000	0	0	0.0%
兵庫	761,175,000	761,175,000	0	751,917,000	751,917,000	0	-9,258,000	-1.2%
鳥取	140,135,000	140,135,000	0	145,952,000	145,952,000	0	5,817,000	4.2%
島根	63,422,000	63,422,000	0	53,416,000	53,416,000	0	-10,006,000	-15.8%
岡山	248,694,000	248,694,000	0	239,417,000	239,417,000	0	-9,277,000	-3.7%
広島	646,668,000	646,668,000	0	611,212,000	340,558,000	270,654,000	-35,456,000	-5.5%
山口	103,422,000	44,202,000	59,220,000	81,333,000	27,503,000	53,830,000	-22,089,000	-21.4%
香川	88,846,000	30,096,000	58,750,000	82,339,000	27,144,000	55,195,000	-6,507,000	-7.3%
徳島	13,918,000	13,918,000	0	13,402,000	13,402,000	0	-516,000	-3.7%
愛媛	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
高知	121,873,000	121,873,000	0	141,581,000	141,581,000	0	19,708,000	16.2%
福岡	1,169,581,000	1,169,581,000	0	642,673,000	642,673,000	0	-526,908,000	-45.1%
佐賀	27,287,000	2,258,000	25,029,000	27,765,000	4,234,000	23,531,000	478,000	1.8%
長崎	147,813,000	147,813,000	0	120,765,000	120,765,000	0	-27,048,000	-18.3%
大分	275,796,000	275,796,000	0	285,744,000	285,744,000	0	9,948,000	3.6%
熊本	0	0	0	2,238,550	0	2,238,550	2,238,550	#DIV/0!
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
鹿児島	136,429,000	132,462,000	3,967,000	131,553,000	127,592,000	3,961,000	-4,876,000	-3.6%
沖縄	32,448,000	32,448,000	0	28,013,000	28,013,000	0	-4,435,000	-13.7%
合計-平均	58,640,238,000	53,836,549,000	4,803,689,000	57,284,896,550	52,055,262,000	5,229,634,550	1,355,341,450	2.1%

県単予算は、授業料補助と入学金補助の合計額。

各私教連・組からの報告、及び各自治体担当課・係への直接問い合わせによって全国私教連が作成

神奈川県も全国平均並みの 助成金を!

願いを署名にこめて

昨年の
署名の成果
みなさんの署名の力で年収700万円未満世帯までの
授業料補助は12,000円増額の456,000円に

2022年度 私立高校生への授業料補助 (910万円以上世帯は補助が0円)

733,000円 456,000円 (県内私立高校の 平均授業料)	自己負担：277,000円 (神奈川県は授業料以外の施設費等には補助は出ません)		自己負担 539,800円		自己負担 733,000円	
	県：60,000円		県：337,200円		県：74,400円	
	国：396,000円		国：118,800円		国：118,800円	
	国：118,800円		国：118,800円		補助は0円	
対象家庭	生活保護世帯 年収～270万	270～590万	590～700万	700～750万	750～910万	910万～

国への運動が
必要です

補助は0円

さらに新しく多子家庭に対する補助制度ができました!
15歳以上23歳未満の子が私立高校生を含めて3人以上いる家庭は、年収800万円未満の世帯まで456,000円の授業料補助が(年収910万円未満までは193,200円)新設されました。

私立学校の少人数学級は私学助成の 大幅な増額がないとできません!

経常費補助が
少ないために...



- 幼・小・中・高とも
全国で1・2位を争う
学費の高さ
- 教員の非正規率の高さ、
教育条件の低下

経常費補助が
増額されれば...

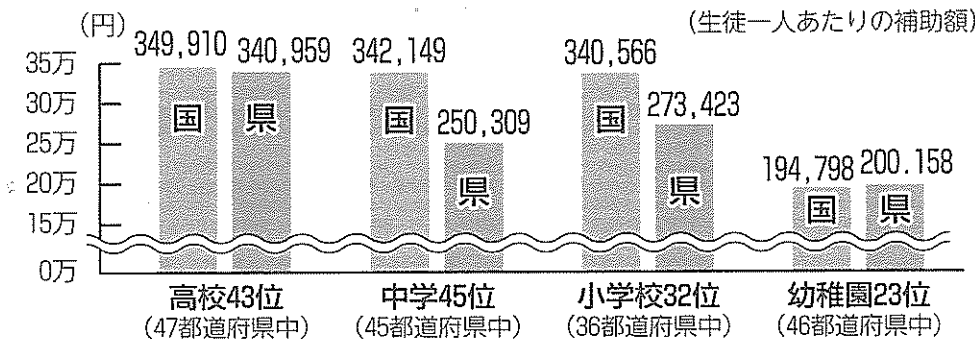


- 授業料の値上げがなくなります
- 少人数学級が実現し、教育環境が整います
- 耐震構造などの施設設備が充実します
- 専任教員が増えます

だから署名です!

国・県とも私立学校への経常費補助は幼小中高で増額!

2022年度神奈川県私立学校経常費補助額



「経常費補助」は学校の運営への補助金です。「国基準」とは国の経常費予算額から算出される「全国」の生徒・児童・園児一人あたりの補助額です。増額とはいえ、神奈川県は幼稚園を除き国基準に届いていません。

他都県と比べ 神奈川はまだまだ足りていません!

東京では

年収910万円未満の家庭まで授業料平均額の46万9千円の授業料補助。子ども3人以上は一律軽減。

埼玉では

年収720万円未満の家庭まで授業料平均額の37万8千円の授業料補助、年収500万円未満の家庭までは授業料補助だけでなく施設費20万円も補助。

山形では

23歳未満の子が私立高校生を含め3人以上いる多子世帯は年収910万円以上の家庭に対して59,400円の補助。

私学助成は法に定められた国民の権利です

私学助成

学校という公の性格を担う私立に対する国や県からの補助金

経常費補助 学校の運営への補助金

学費補助 就学支援金を含む家庭への補助金

法的根拠

日本国憲法 第26条 教育を受ける権利
国際人権A規約 第13条 中等・高等教育の漸進的無償化条項
教育基本法 第4条 教育の機会均等、第6条 学校教育、第8条 私立学校
私立学校振興助成法 第1条

日本は2012年に留保撤回!
①私立学校の教育条件の維持及び向上
②私立在学幼児、児童、生徒、学生の経済的負担の軽減
③私立学校の健全な経営と健全な発達

(問い合わせ先) 神奈川私学助成をすすめる会

〒231-0062 横浜市中区榎木町3-9 TEL 045-212-5574 FAX 045-212-5575

私立へ通う子どもたちの
経済的負担を減らすために

コロナ禍においても豊かな教育を！ 私立でも少人数学級実現を！

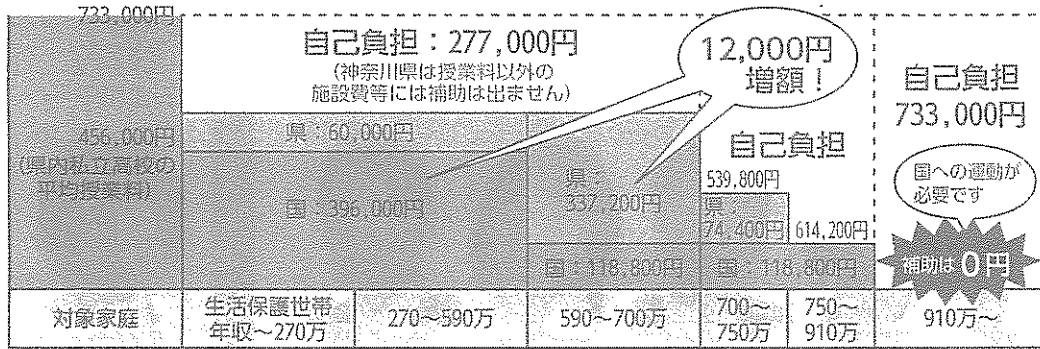
神奈川で多子加算制度が実現！ 経常費補助も授業料補助も増額！

2021年度の成果

① 年収700万円世帯までの私立高校実質授業料無償化は456,000円 (+12,000円) 補助まで増額

年収700万円未満の世帯まで県内私立高校の平均授業料にあたる補助は456,000円 (+12,000円) まで増額されました。

2022年度 私立高校生への授業料補助 (910万円以上世帯は補助が0円)



② 多子家庭は年収800万円世帯まで授業料無償に!

私立高校へ通う生徒の家庭で15歳以上23歳未満の子どもが3人以上いる家庭には年収800万円未満の世帯まで私立高校授業料無償(456,000円補助)が実現、さらに910万円未満の家庭まで193,200円の補助が実現しました。多子家庭の経済的負担を一定解消する制度といえます。

私学助成の請願署名にご協力ありがとうございました

70,723筆を12月3日に神奈川県議会へ提出。
全国署名は現在約305万筆を国会に提出予定。

③ 経常費補助(学校への補助金)はすべての校種で国も県も増額！ 幼稚園は国基準維持！

生徒一人あたりの2022年度経常費補助額 (単位は円)

	国基準	国増額分	神奈川県	県増額分	国基準との差	順位
高校	348,909	4,080	340,959	2,786	7,950	43位
中学校	341,148	3,995	250,309	1,253	90,839	45位
小学校	339,566	3,977	273,423	2,550	66,143	32位
幼稚園	194,871	2,293	200,158	4,580	▲5,287	23位

(順位は2021年度のもの。中学校は45都道府県中、小学校は36、幼稚園は46都道府県中の順位)

④ しかしまだ終わりではありません 神奈川でも他県に負けない補助の実現を!

東京都では 年収910万円未満の家庭まで授業料平均額の46万7千円の授業料補助。子ども3人以上は一律軽減。

埼玉県では 年収720万円未満の家庭まで授業料平均額の37万8千円の授業料補助。年収500万円未満の家庭までは授業料39万6千円に施設費20万円も補助

愛知県では 授業料以外の学費を授業料に振り替えることで授業料平均金額が上がり、授業料補助単価が増額

神奈川県は授業料補助は増額されましたが、他県と比べると、まだまだ遅れています。さらに神奈川県の生徒一人当たりの経常費補助は上の表のように全国的に低い順位であり、課題が残ります。小中高の額は国基準を下回っています。幼稚園を除く小・中・高では県の増額が国の増額分を下回り、差が広がってしまいました。これらを改善するためには、これからも運動を強めていく必要があります。

授業料補助の増額、多子加算制度の新設、経常費補助は幼・小・中・高で増額。これは署名をはじめとするこれまでの私たちの運動の成果です。

- ①一言ハガキを国に2,060枚と県に2,447枚提出し、私たちの声を届けました。
- ②私学助成の増額を県議会議員や、県知事に要請しました。
- ③私学振興課と懇談を持ち、私学助成の必要性を訴えました。
- ④保護者と生徒、教職員で数々の集会を開いて私学の良さをアピールしました。
- ⑤川崎市を除く県内32市町村に「国と県に私学助成拡充を求める意見書の提出」の陳情を提出しました。
- ⑥コロナ禍において、私立高校に対する旅行行事キャンセル料補助を県に要請し、実現しました。

県内の9市町村が国と県への意見書提出の陳情を採択

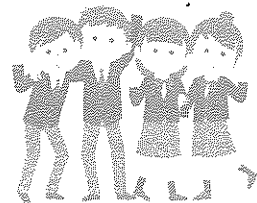
2021年度に川崎市を除く県内32市町村に「国と県に私学助成拡充を求める意見書の提出」を陳情。その結果現在まで9市町村(藤沢市・大和市・座間市・綾瀬市・秦野市・葉山町・清川村(意見書は出さず)・愛川町(意見書は出さず)・大磯町(意見書は出さず)が採択・趣旨了承してくれました。過去6年で採択・趣旨了承のあった逗子市・茅ヶ崎市・伊勢原市・小田原市・南足柄市・二宮町・鎌倉市(同趣旨のもの)を含めると、半数近い16市町村に及びます。(3月10日現在)

私たちは私立高校生を応援します

これからも私立高校生が生き生きと活躍できる企画を用意しています。

11月上旬

私学のつどい(予定)



署名提出に協力してくださった紹介議員のみなさん

3月10日現在

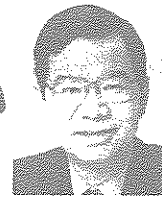
◆国会議員のみなさん



衆議院議員
(立憲民主党)
青柳陽一郎氏



衆議院議員
(立憲民主党)
阿部知子氏



衆議院議員
(日本共産党)
志位和夫氏

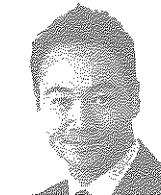


衆議院議員
(立憲民主党)
篠原 豪氏

◆神奈川県議会議員のみなさん



県議会議員
(日本共産党)
井坂新哉氏



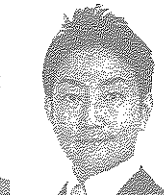
衆議院議員
(自由民主党)
鈴木馨祐氏



衆議院議員
(自由民主党)
田中和徳氏



参議院議員
(日本共産党)
田村智子氏



衆議院議員
(立憲民主党)
中谷一馬氏



県議会議員
(日本共産党)
石田和子氏



参議院議員
(社会民主党)
福島瑞穂氏



衆議院議員
(自由民主党)
星野剛士氏



参議院議員
(立憲民主党)
牧山弘恵氏



参議院議員
(立憲民主党)
真山勇一氏



県議会議員
(日本共産党)
君嶋ちか子氏



参議院議員
(公明党)
三浦信祐氏



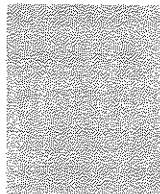
衆議院議員
(立憲民主党)
山崎誠氏



衆議院議員
(立憲民主党)
笠浩史氏



衆議院議員
(立憲民主党)
早稲田夕季氏



衆議院議員
(自由民主党)
三谷英弘氏

私たちの運動を応援して
くださる議員の
みなさんです

問い合わせ先 **神奈川県私学助成をすすめる会**

〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9 TEL 045-212-5574 FAX 045-212-5575